

外国人児童生徒教育 推進ユニット



令和7年度 オンライン研修「多様性が活かせることばの教育」

研修B 幼・小・中・高の 学びの連続性を保障することばの教育

令和7年6月8日(日)

趣旨説明

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構
外国人児童生徒教育推進ユニット ユニット長

齋藤 ひろみ

子どもの日本語指導の役割

全人的教育として、縦軸（年齢的な成長・発達）×横軸（社会とのかかわり）の両方の学びの連続性・広がり意識することが重要

成長・発達過程にある子どもにとって…

ことばを獲得すること

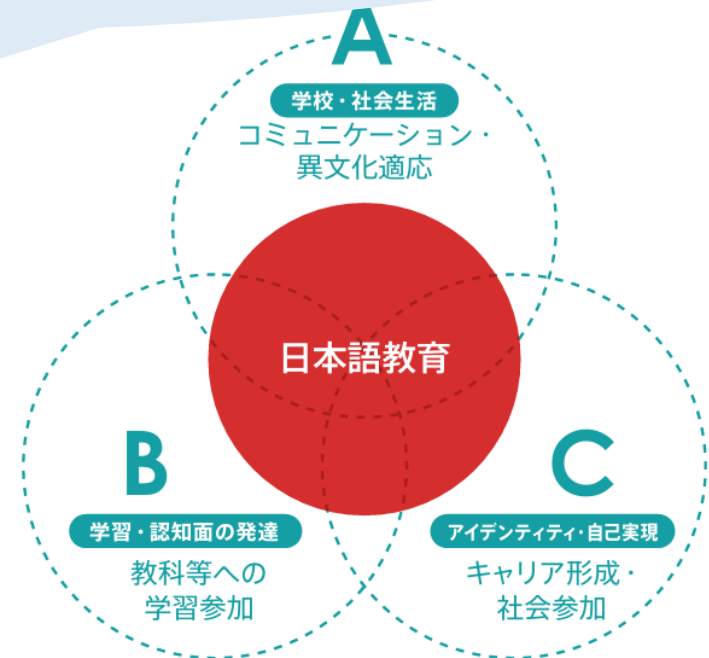
= 世界を広げ成長・発達すること

≠ 単なる日本語の知識・技能の獲得

日本語教育

≡

成長・発達を支える全人的な教育

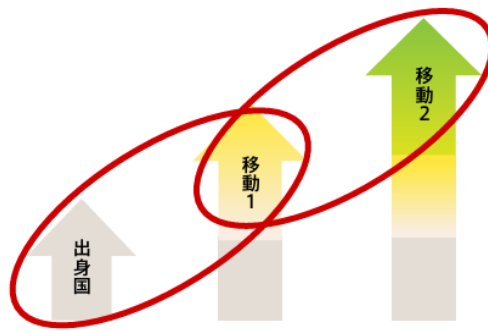


3つの側面から日本語指導の目標を設定

縦軸（年齢的発達を支える）学習の連続性 学校種間の教育を接続することが重要

縦 の学びの連続性

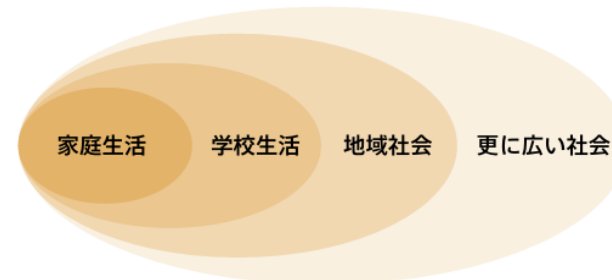
培ってきた力を、新しい学びに結ぶ



参考：齋藤ひろみ（2013）「文化間移動をする子どもたちへの日本語教育」
『月刊国語教育研究』No.490 p.17-18 をもとに作成

横 の学びの連続性

子どもたちの「社会」は拡張し、複層化
社会的関係の広がりにより、学びにつながる



横軸（他者・社会との相互作用による社会化） 公的な教育とそれ以外の場の接続が重要

主体的な生涯学習者となり、社会を築く人となる

縦軸の学習の連続性...ライフコースの視点で 学校種間の教育活動・内容の接続が重要



〈趣旨〉

日本語を学ぶ子どもたちの心身の成長発達や子どもたちを取り巻く環境をふまえながら、スムーズな学校での受け入れや指導事例、そして、幼・小・中・高等学校間の学びの連続性を重視した支援について、一緒に考えます。

本外国人児童生徒教育推進ユニットで作成した動画（参加者限定公開）の事前視聴と講義により基礎的な情報や知識を学び、実践例の報告・紹介を通して日本語指導や学習支援のイメージをつくり、ワークショップ型の活動を通して、明日からの指導・支援に生かせる具体的なアイデアを考えます。

なお、初めて日本語指導を担当することになった先生方や支援活動を始められた支援者の皆さんを主な対象として内容を構成しております。

本ユニットHPより

研修で目指す資質能力

第1回 6/8(日)

子どもの持てる力と経験を新たな学びにつなぐ
～初期支援と活動のアイデア～

【捉える力】「子どもの実態の把握」ア
【育む近力】「日本語・教科の力の育成」ケ・コ
【つなぐ力】「学校づくり」テ

第2回 7/6(日)

成長段階に応じた学ぶ力を高める
～教科と日本語の統合学習～

【育む力】「日本語・教科の力の育成」
コ・サ・ス・セ

第3回 8/3(日)

アイデンティティと関係づくりを支える
～ことばの教育実践を通じて～

【捉える力】「子供の实態の把握」イ
「社会的背景の理解」ク
【育む力】「異文化間能力の涵養」タ・チ



参考

モデルプログラム | KNiT knot-net ニットノットネット (mo-mo-pro.com)

「豆の木モデル」

「外国人児童生徒を担う教員(指導員含む)の資質・能力のモデルとして文部科学省委託により日本語教育学会が構築・開発

現場の実践課題の解決には...

「捉える力」「育む力」「つなぐ力」

「変える／変わる力」という

4要素の総合的な力が必要



資質・能力の4要素と 課題領域		求められる具体的な力
捉える力	子どもの実態の把握	文化間移動と発達の視点から、外国人児童生徒等の状況を把握することができる。
	社会的背景の理解	外国人児童生徒等の背景や将来を、社会的、歴史的文脈に位置付けることができる。
育む力	日本語・教科の力の育成	外国人児童生徒等の実態等に応じ、言語教育に関する専門的知識に基づいて、日本語・教科の教育を行うことができる。
	異文化間能力の涵養	外国人児童生徒等と周囲の子どもとの相互作用を通して、双方に異文化間能力を育てることができる。
つなぐ力	学校づくり	保護者や地域の関係者と連携・協力して、よりよい支援、教育のための学校体制をつくることができる。
	地域づくり	異なる立場の人々と協働しながら、学習環境としての地域づくりをすることができる。
変える／ 変わる力	多文化共生社会の実現	社会的正義と公正性を意識し、多文化共生を具現化することができる
	教師としての成長	外国人児童生徒等に関する教育・支援活動を振り返り、自己の成長につなげることができる。



第1回研修

目指す「資質・能力」

	資質能力	教師に求められる具体的な力
第1回	捉える力	ア 子どものシグナルを見逃さず、文化間移動と発達の見点をもってその困難さを理解することができる。
	育む力	ケ 外国人児童生徒等の受け入れ体制・指導体制に応じて、指導・支援を行うことができる。 コ 第二言語習得や教育方法に関する知識を踏まえ、子どもの年齢的な発達の違いを考慮した日本語や教科の指導・支援をすることができる。
	つなぐ力	テ 外国人児童生徒等教育を学校の教育課題に位置づけ、学校全体で取り組むよう働きかけることができる。

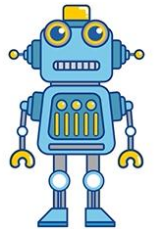
柘植雅義監修・齋藤ひろみ編著『外国人の子どもへの学習支援』金子書房,2022 p130

公益社団法人日本語教育学会 文部科学省委託「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」2017～2019 [モデルプログラム](#) | [KNiT](#) [knot-net](#) [ニットノットネット](#)

東京学芸大学外国人児童生徒教育推進ユニット「多様性が生きることばの教育」2025

研修B 幼・小・中・高の学びの連続性を保障することばの教育

第1回「子どもの持てる力と経験を新たな学びにつなぐ
～初期支援と活動のアイデア～」 2025.6.8



講義

「来日直後の受入れ体制と初期日本語支援」

谷 啓子（東京学芸大学）



講義「来日直後の受入れ体制と初期日本語支援」

1. はじめに 第1回で目指す資質能力
2. 子どもの日本語教育に関する施策等
3. 受け入れにあたって
 - (1) 事前面談
 - (2) 関わる人々の連携
4. 子どもたちの学びをつなぐ
5. ことばのコース設計
6. おわりに



1. はじめに 第1回で目指す資質能力

現場の実践課題の解決に必要な4要素

【4要素】 「課題領域」

●) 求められる具体的な力

実践場面の課題領域



【捉える力】 「子どもの実態の把握」

ア) 子どものシグナルを見逃さず、文化間移動と発達の視点をもってその困難さを理解することができる。

【育む力】 「日本語・教科の力の育成」

ケ) 外国人児童生徒の受け入れ体制・指導体制に応じて、指導・支援を行うことができる

コ) 第二言語習得や教育方法に関する知識を踏まえ、子どもの年齢的な発達の違いを考慮した日本語や教科の指導・支援をすることができる。

【つなぐ力】 「学校づくり」

テ) 外国人児童生徒等教育を学校の教育課題に位置づけ、学校全体で取り組むよう働きかけることができる。

2. 子どもの日本語教育に関する施策等

文科省「日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況に関する調査結果」H3年(1991)～

「日本語指導が必要な児童生徒」とは、
「①日本語で日常会話が十分にできない児童生徒及び、
②日常会話ができて、学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じており、
日本語指導が必要な児童生徒」

H18調査より付記

「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（令和5年度）」の結果について：文部科学省

69,123人（R5.5.1現在）
外国籍57,718人 日本籍11,405人

2. 子どもの日本語教育に関する施策等

国の外国人児童生徒の受入方針

4 国・地方自治体の方針・制度・受入制度

外国人がその保護する子を公立の義務教育諸学校に就学させることを希望する場合には、無償で受入れており、教科書の無償給与や就学援助を含め、日本人と同一の教育を受ける機会を保障している。

経済的・社会的、及び文化的権利に関する規約（国際規約 A）
児童の権利に関する条約

円滑な就学のために

- ・ 外国人児童生徒等に対する日本語指導の充実のための教員配置
- ・ 日本語指導者等に対する研修の実施
- ・ 自治体の取組を支援する補助事業の実施

日本語指導を正規の授業として位置づける「特別の教育課程」

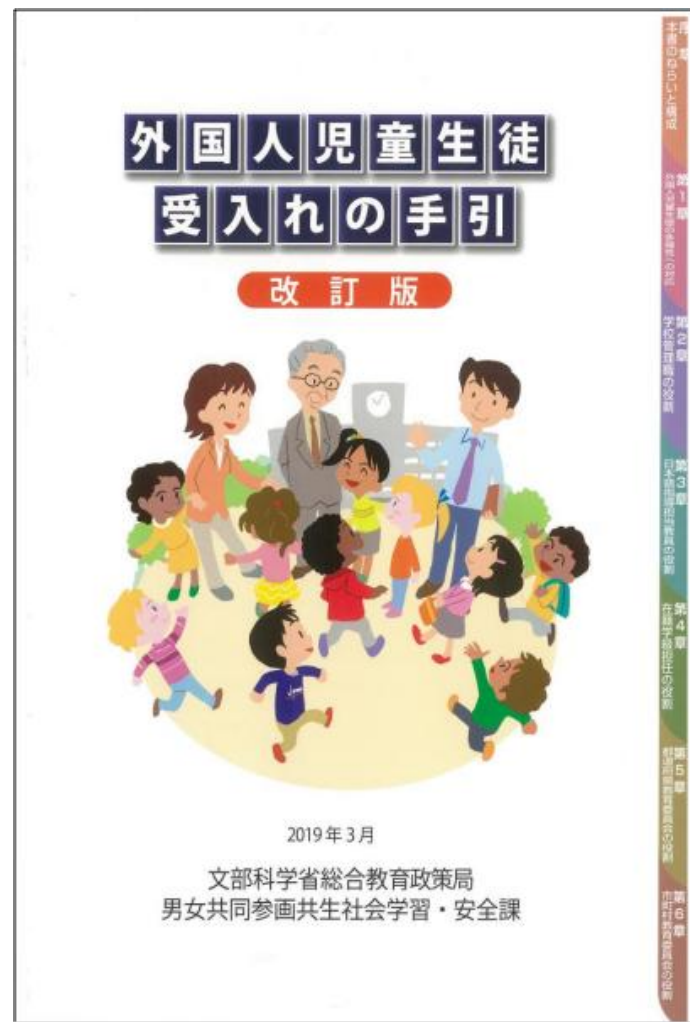
- ・ 小中学校における施行（2014.4～）
- ・ 高等学校 // （2023.4～）

↑日本語学習の努力が卒業単位に

将来の選択肢の拡大

2. 子どもの日本語教育に関する施策等

文科省2011年『外国人児童生徒受け入れの手引き』策定（2019改訂）



2. 子どもの日本語教育に関する施策等

2019「日本語教育の推進に関する法律」

基本的施策（第十二条―第二十六条関係）

国内における日本語教育の機会の拡充

- ・ 外国人等である**幼児、児童、生徒等**に対する日本語教育
- ・ **外国人留学生等**に対する日本語教育
- ・ 外国人等の**被用者等**に対する日本語教育
- ・ **難民**に対する日本語教育
- ・ 地域における日本語教育
- ・ 日本語教育についての国民の理解と関心の増進

日本語教育の水準の維持向上等

- ・ 日本語教育を行う機関における教育水準の維持向上
- ・ 日本語教育に従事する者の能力・資質の向上等
- ・ 教育課程の編成に係る指針の策定等
- ・ 日本語能力の適切な評価方法の開発

海外における日本語教育の機会の拡充

- ・ **海外における外国人等**に対する日本語教育
- ・ **在留邦人の子等**に対する日本語教育

日本語教育に関する調査研究等

- ・ 日本語教育の実態、効果的な日本語教育の方法等に係る調査研究等
- ・ 外国人等のための日本語教育に関する情報の提供等

地方公共団体の施策

- ・ 地方公共団体は、国の施策を勘案し、地域の状況に応じた日本語教育の推進に必要な施策の実施に努める。

2. 子どもの日本語教育に関する施策等

幼児期・学齢期の児童・生徒への日本語教育は「家庭における教育等において使用される言語の重要性に配慮して行わなければならない」(第3条第7項)

基本理念（第三条関係）

- ①外国人等に対し、その希望、置かれている状況及び能力に応じた日本語教育を受ける機会の最大限の確保
- ②日本語教育の水準の維持向上
- ③外国人等に係る教育及び労働、出入国管理その他の関連施策等との有機的な連携
- ④国内における日本語教育が地域の活力の向上に寄与するものであるとの認識の下行われること
- ⑤海外における日本語教育を通じ、我が国に対する諸外国の理解と関心を深め、諸外国との交流等を促進
- ⑥日本語を学習する意義についての外国人等の理解と関心が深められるように配慮
- ⑦幼児期及び学齢期にある外国人等の家庭における教育等において使用される言語の重要性に配慮



3.受入れにあたって（Ⅰ）事前面談

（Ⅰ）個に応じた指導のために

1 日本語指導・学習支援の仕組み

最初に… 面談の留意点

- ▶ 子どもと保護者に対する学校説明
- ▶ 温かい雰囲気 / 保護者との信頼関係 / 子どもの安心感
- ▶ 自治体の支援（母語支援者、通訳者）や翻訳ツールの活用
- ▶ 自国との学校文化の異なりへの配慮

（例）・水泳の経験も少なく、プールカードが分からない
・体育の時間に体操着に着替える 等





教材検索

生徒への指導・学習に利用できる多言語対応の教材・資料です。

よく利用される資料

人気

急上昇

科目種別

国語

社会

算数・数学

理科

生活

外国語

日本語

文書検索

保護者へのお知らせに利用できる多言語対応の文書資料です。

よく利用される資料

人気

急上昇

主題

進路・成績

費用・給付

保健

学校行事

日課・持ち物

課外活動

届出・証明書

災害・防犯

学校制度・就学

用語集

学校種

小学校

中学校

高等学校

外国人児童・保護者向け動画 「はじめてまして！今日からともだち」 「おしえて！日本の小学校」

対象

これから日本の学校に通う
外国人児童やその保護者など



各動画
10分程度



日本の小学校の学校生活の様子について、アニメーションで紹介します。

15言語に 対応

日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、
インドネシア語、ミャンマー語、カンボジア語、フィリピン語、モンゴル語、ウクライナ語

内容

「はじめてまして!今日からともだち」は、外国から来た主人公が、はじめて小学校に登校した日のお話です。
「おしえて!日本の小学校」では、小学校における学校生活の様子や習慣などについて紹介しています。

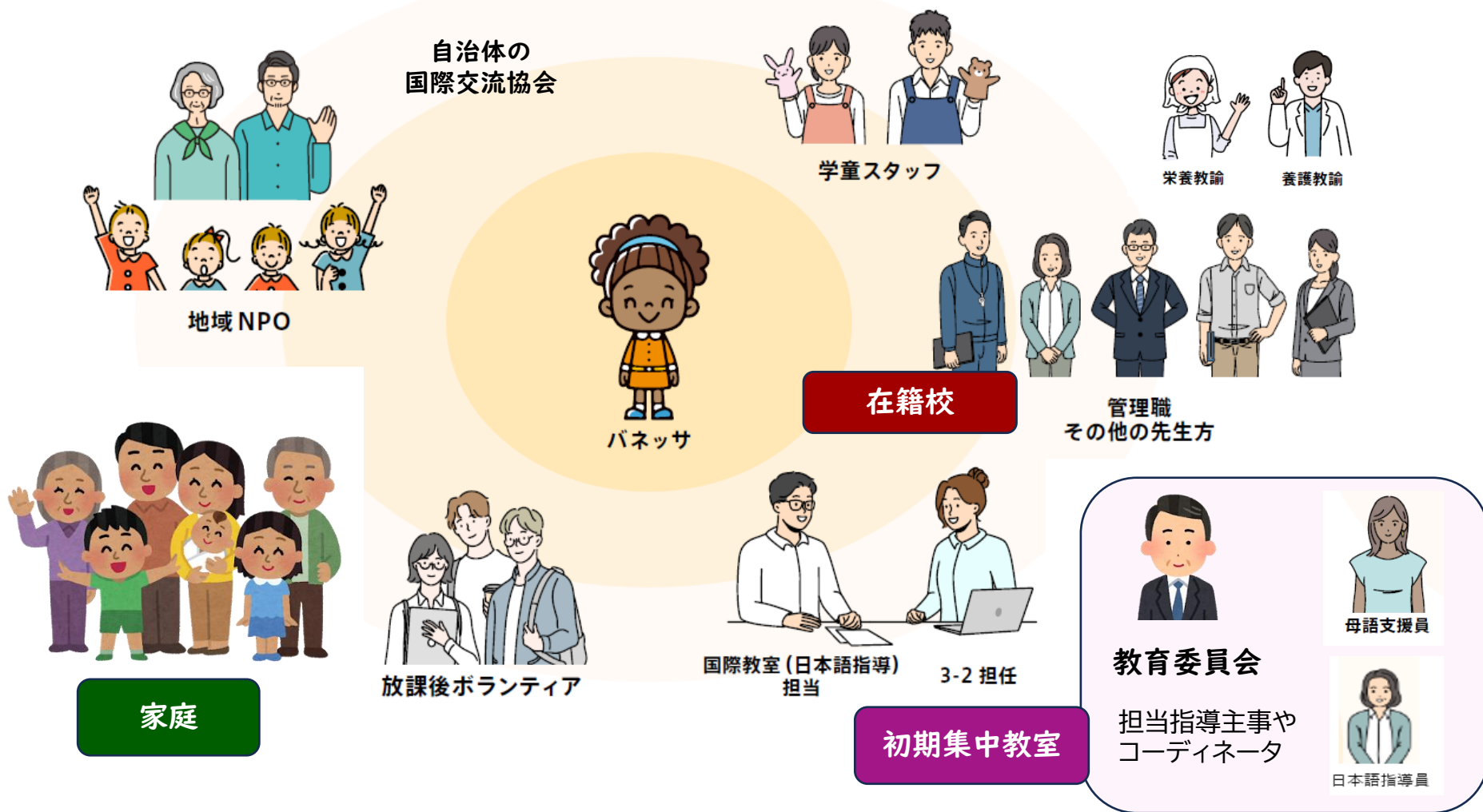
★外国から来日し、日本の小学校に通学することになった外国人
児童を主人公に、ストーリー仕立てで学校生活の様子を紹介
(15か国語対応／各国語スクリプト有)

05 00:34	
06 00:45	

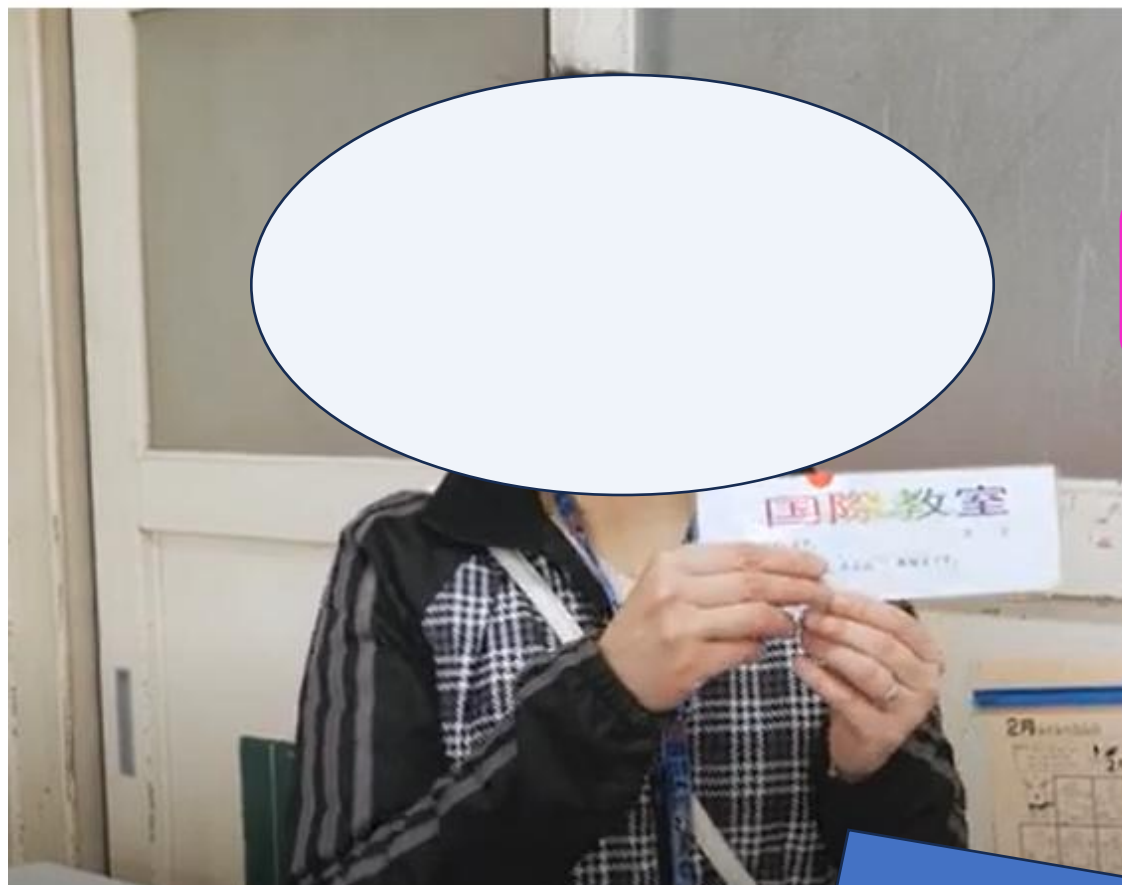
3.受け入れにあたって（2）関わる人々の連携

（4）バネッサさんの支援に関わるチーム

1 日本語指導・学習支援の仕組み



3.受け入れにあたって（２）関わる人々の連携



連絡カードの役割

- ①カードに取り出しの時間を記録し
前日に担任の先生に渡す
- ②担任の先生は担当クラスの子どもの
取り出し時間を確認したあと
子どもに連絡カードを渡す
- ③子どもたちはカードを持って
国際教室に行き 箱の中に入れる
- ④担当の先生を確認してから
担当の先生のもとで授業を受ける

担任も子どもも、日本語指導の時間を忘れないように...
ふてばこサイズの「国際教室カード」

4. 子どもたちの学びをつなぐ

(2) 就学前・小・中・高等学校の学びをつなぐ ①

2 文化間移動をする子どもの学び



- ・机に座っている時間が長くなる
- ・先生との関係の変化
- ・時間割で動く 等

小学校6年間は
成長の幅が大きな時期



担任

どうも指示が理解できていないみたい。
皆と一緒に動けない...
授業についていくのが大変みたい

うちの子は小さい頃から日本にいて、
話せるから日本語クラスには
行かなくていいよね

保護者



内田千春（2021）「就学前教育・保育の視点から教育格差を考える：言語文化的に多様な子どもたちと接続期の支援」『異文化間教育』54, pp.19-38

接続期

学校と家庭の文化差が大きいと
子どもの負担も増（内田2021）

小学校へつなぐ
プレススクール指導の

*毎回のもちもの



カレンダー♪



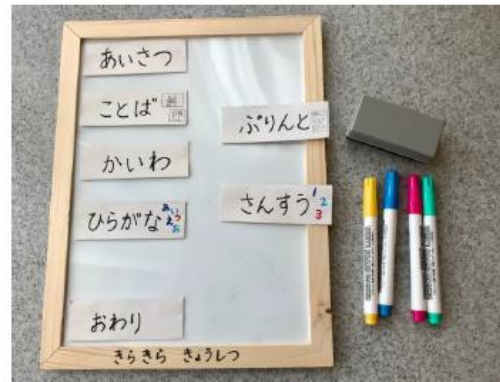
カード：天気・健康観察
姿勢・鉛筆の持ち方



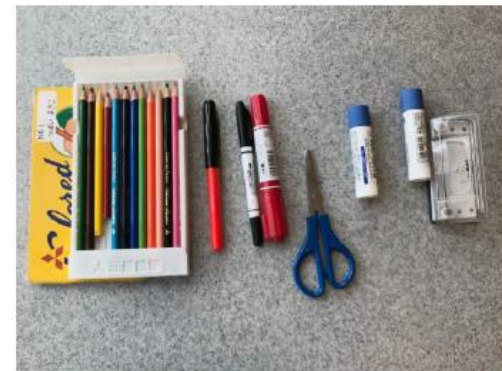
文具類：数字の書き順カード



カード・絵本



ホワイトボード



東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット 令和5年度 外国人児童生徒等教育研修 オンライン第3回 坪井牧子さん資料(大垣市プレススクール「きらきら教室」とは?ー「つながる」学習と支援をめざしてー)

4. 子どもたちの学びをつなぐ

生活的概念から科学的概念へ

幼児期

児童期

青年前期

青年後期

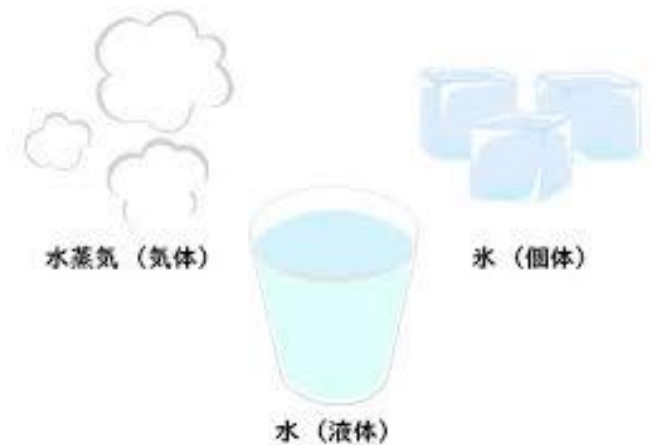
生活的概念

科学的概念

例) 生活の中で氷と水、水と蒸気の関係を経験



学校の理科の学習で、三態（固体・液体・気体）という概念（+ことば）を得る。



イラストAC/個体・液体

ヴィゴツキー, L.S. / 柴田義松 (訳) (2001) 『新訳版・思考と言語』新読書社

本山方子 (2019) 「自律的な学習への転機」外山紀子・安藤智子・本山方子編『生活のなかの発達—現場主義の発達心理学—』新曜社, pp85-101.

4. 子どもたちの学びをつなぐ

(1) ライフコースの視点

2 文化間移動をする子どもの学び



4. ことばのコース設計

バイリンガル育成の立場から見た言語形成（中島1998.2016改訂）

(1) 0－2歳「ゆりかご時代」

親による一方的な話しかけの時代

(2) 2－4歳「子ども部屋時代」

自分から言葉を使って周りに積極的に働き掛ける

(3) 4－6歳「遊び友達時代」

社会性が発達して子ども同士の遊びができるように

(4) 6－8歳「学校友達時代 前半」

話し言葉がかたまって読み書きの基礎ができる

(5) 9－13歳「学校友達時代 後半」

母語がかたまる。言語ルールを整理して理解できるように

読解力・
作文力
抽象的語彙



言語形成期
前半
0～7,8歳

言語形成期
後半
9～13歳

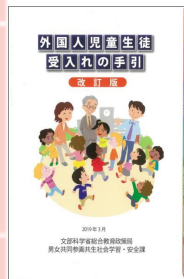


4. ことばのコース設計

(3) 発達段階によるコース設計

コースを設計する上では、児童生徒の発達段階を十分考慮することが重要です。ここで、①小学生の前半(1～3年生程度)、②小学生の後半(4～6年生程度)、③中学生の言語習得状況の特徴をまとめてみます。

発達の段階	＜言語習得の特徴＞と＜適した指導方法＞
小学生・前半 (1～3年生程度)	＜特徴＞ 日常生活の日本語使用場でシャワーのように自然な日本語を浴び、その表現を場面との関係で丸ごと覚える。 ＜指導方法＞ 文法説明はあまり有効ではない。児童の生活に関連のある具体的な場面とともに日本語を聞き、その表現を繰り返し使って活動する経験を通して習得する。
小学生・後半 (4～6年生程度)	＜特徴＞ 言語を分析する力が一定程度発達しており、具体的な場面での日本語使用例を聞いたり補助的な説明を受けたりして規則を理解することができる。 ＜指導方法＞ 理解した日本語を実際的な場面や興味のある内容に関連付けて使う経験を通して習得させる。
中学生	＜特徴＞ 言語を分析する力や文法規則を応用して使用する力も発達しつつあり、用例と説明を受けて意味や規則を理解することができる。 ＜指導方法＞ 理解した日本語を状況に合わせて使用する練習を通して運用力を高める
高校生	＜特徴＞ 物事を分析的に捉えたり関連づけたりして学ぶ力があり、社会的な経験も小・中学生とは異なる広がりがある。 ＜指導方法＞ 多様なツールやリソースに自分でアクセスし、自分の学習を計画的に進める自律的な力を生かし、運用力を高める



文部科学省『外国人児童生徒受入れの手引き(改訂版)』第3章日本語指導担当教師の役割／文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2022東京学芸大学先端教育人材推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』

4. ことばのコース設計

補足 3 「文型指導」の授業の流れ

ここで、小学校前半(1年～3年)と小学校後半以上(4年～6年、中学生)に分けて、典型的な「文型指導」の授業の流れを見てみましょう。大きくは、「導入」→「練習」→「まとめ・確認」という流れです。小学校前半の場合は、「練習」で具体的な場面を設定した文型の運用練習としてゲーム等の活動をし、小学校後半以上の場合は、文型の一部を入れ替えたり、文をつくったりする「基本練習」をしてから、場面を設定した課題解決型の「応用練習」をします。下の表は「～に～があります」という文型の指導の例です。

○文型指導の例

「～に～があります(存在文)」

小学校前半 (1～3年生)	小学校後半 (4～6年生)・中学生
①導入 グラウンドの絵に、鉄棒、ブランコ、滑り台、砂場のカードを置いておき、それぞれについて、場所と物の語彙を確認する。 絵の該当する箇所を指示しながら、口頭で「グラウンドに鉄棒があります。」と文型を導入する。	①導入 机の絵を板書し、その上(下、中)に、「かばん、上靴、ノート、筆箱」のカードを貼り付けておき、指さしやジェスチャーを加えながら「机の上にノートがあります」と文型を導入し、板書する。
②練習 ・導入した文型を、絵で意味を確認しながら繰り返し発話する。 「公園にブランコがあります。」 「中庭に砂場があります。」 ・公園、グラウンド、中庭の絵の上に遊具カードを裏返しておいて、何があるのかを当てるクイズを行う。 A：公園に何がありますか。 B：鉄棒があります。 A：(カードをめくって)いいえ、ちがいます。公園に、砂場があります。 ※最初は教師が出題し、次に児童生徒に出題させる。	②練習(基本練習) A：教師の発話のリピート練習 B：黒板の絵を見ながら、文の下線の個所を他の語彙に入れ替える練習「机の <u>上</u> に <u>本</u> があります」 C：自分で文をつくる練習 D：Q&A練習 Q：机の中に何がありますか A：机の中に筆箱があります。
③まとめ 最後のクイズの内容を「～に～があります」という文型を利用して書き(2～3文)、その後、つくった文を読む。	③練習(応用練習) A、Bのペアになり、背中あわせに座る。Aは、机とイスの絵に「かばん、教科書、時計、ノート、筆箱」のカードを置いて絵を完成する。そして、Bに、文型を利用して絵の説明をする。Bは、Aの話のとおり、自分の絵にカードを置く。最後に、二人で完成した絵を見せあいながら、答え合わせをする。次はBが、問題をつくる。
	④まとめ 応用練習でつくった絵について、文型を利用して文を書く。出だし「ここは○○さんの部屋です。」に続けて書かせる(絵の物すべてについての文)。最後に、類似の文章を読んで部屋の絵を完成させる。

外国人児童生徒 受入れの手引

改訂版



2019年3月

文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課

4. ことばのコース設計

(3) 日本語指導の目標と内容 (5つのプログラム)

1 子どもに日本語を教えること

3つの目標 (全体的目標)

A 学校・社会生活におけるコミュニケーションのための日本語の力を身につける

⇨ 生活言語能力

B 教科等の学習に参加するための日本語の力を高める

⇨ 学習言語能力

C アイデンティティ形成・自己実現に向けてことばを使う力を育む

内容 (→プログラム化)

A 生活場面の語彙・表現、会話

サバイバル日本語

B 発音・文字・文法等の知識・技能

日本語基礎

C 文章の読み・書き、
まとまった内容を聞く・話す技能

技能別日本語

D 教科等の学習とそれを支える日本語

日本語と教科の統合学習

E 社会的活動に参加する力・経験

母語・母文化、キャリア支援等

参考：齋藤ひろみ他（2011）『外国人児童生徒のための支援ガイドブック』凡人社 p.135

(4) 日本語のプログラム①

1 子どもに日本語を教えること

初期段階の指導内容

「サバイバル日本語」プログラム

ねらいとする力

日本の学校生活や社会生活に必要な知識
日本語をつかって行動する力

教え方

実際の場면을提示し、語彙・表現を聞いたり・話したりする
(場面と語彙・表現を結び付けて、行動を伴わせて)



関係づくり

「おはよう」
「ありがとう」
「一緒に遊ぼう」
「入れて」

学校生活

教科の名前：国語・算数・社会・理科
教室名：体育館、職員室
「先生どこ？」
「次何の勉強？」

健康・安全

「お腹、痛いです」
「これいらない、アレルギー」
「トイレいいですか」
「危ない」「気を付けて」

参考：文部科学省（2019）「外国人児童生徒受入れの手引き」p.28 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/00



4. こたばのコース設計

(4) 日本語のプログラム②

1 子どもに日本語を教えること

その他のプログラム

「日本語基礎」プログラム (第4講座で事例を紹介)

日本語の基礎的な知識や技能を学び、生活場面・学習場面で運用できるようにする
発音、文字・表記、語彙、文型

「技能別日本語」プログラム

「聞く」「話す」「読む」「書く」の1つに焦点を絞る
小学校高学年～中学生には特に有効 (読み書きの力を高める)

「日本語と教科の統合学習」プログラム

日本語を学ぶことと教科内容を学ぶことを一緒に行う
文部科学省開発「JSL カリキュラム」が普及 (第5講座で事例を紹介)



4. ことばのコース設計

例) 3か月のコース設計 ニールさん(小5)の例

1 日本語のコース設計

	1 か月目 (サバイバル中心)	2 か月目 (日本語基礎も)	3 か月目 (+教科関連学習)
サバイバル 日本語	あいさつ、数字、日付、 時間、体調、教室、友人名、 時間割、教室	あそびに誘う・頼む、色、 健康診断、給食当番、掃除当番	天気、忘れたものを借りる、 交通ルール、水泳カード、 遠足の持ち物
日本語基礎	ひらがな	ひらがな・カタカナ (日常でよく目にする語の読み)	ひらがな・カタカナ復習、 1年生の基本的な漢字の読み
	文型「～は～です」 「私は～が好きです」 (毎時間 10 分)	文型「～があります／います」 「～は～をします」 「～にいきます」	文型「～は(形容詞)です」 「～て(ください)」 「～たいです」

年 組

座 席 表

担任 _____ 先生

副担任 _____ 先生

黒 板

教 卓

先生の机

	31	25	19	13	7	1
廊 下	32	26	20	14	8	2
	33	27	21	15	9	3

廊 下 側

窓 側

4. ことばのコース設計

<例>

・文房具



名詞→ NのN 先生のふでばこ、国語の教科書

・カレンダー + 曜日マグネット

日付と曜日、天気 →NはNです

今日は ○月○日です。

今日は 晴れです。



・時間割 (ルビ) + 科目名の母語訳

月曜日の 1 時間目は 英語です。

・学校の見取り図 (学校探索)

ここは 音楽室です。

ここは 1 組の下駄箱です。

5年1組 時間割表

	月	火	水	木	金
1	国語	音楽	国語	音楽	国語
2	算数	図工	算数	図工	算数
3	理科	道徳	理科	道徳	理科
4	社会	生活	社会	生活	社会
5	体育	総合	体育	総合	体育
6	学活		学活		

2025

1	2	3
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

ヴィゴツキー,L.S./柴田義松(訳)(2001)『新訳版・思考と言語』新読書社

柘植雅義監修・齋藤ひろみ編著『外国人の子どもへの学習支援』金子書房,2022 p130

東京外国語大学 在日ブラジル人児童のための算数教材『掛け算マスター・日本語クリアー』

東京学芸大学文科省委託 高等学校における日本語指導体制整備事業

[本事業 成果物「手引」「ガイドライン」- 高等学校における日本語指導体制整備事業 \(u-gakugei.ac.jp\)](http://u-gakugei.ac.jp)

本山方子(2019)「自律的な学習への転機」外山紀子・安藤智子・本山方子編『生活のなかの発達－現場主義の発達心理学－』新曜社, pp85-101

文部科学省『外国人児童生徒受入れの手引き』2019改訂

文科省「日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況に関する調査(令和5年度)の結果について 令和6年8月8日」

[外国人児童生徒等教育に関する動画コンテンツについて:文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)

文部科学省 かすたねっと 外国につながるのある児童生徒の学習支援情報検索サイト

[かすたねっと \(mext.go.jp\)](https://kasanetto.mext.go.jp)

外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA

[外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA:文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)

中島和子『完全改訂版 バイリンガル教育の方法－12歳までに親と教師ができること－』アルク,2016

文化庁

[日本語教育の推進に関する法律について | 文化庁 \(bunka.go.jp\)](https://bunka.go.jp)

E-Traノート(定型文と多言語で教員と保護者をつなぐ学校向けWEB連絡帳システム)7

[| E-Traニュース／カメラ翻訳にも対応、AI通訳機 |](#)

ポケットーク [POCKETALK\(ポケットーク\)](#)

愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム「国際ファミリーのための日本の小学校に入学する前に」7言語版 [教材一覧 | 外国人児童生徒支援リソースルーム](#)
[愛知教育大学](#)

かながわ国際交流財団 [保育園・幼稚園での外国につながる園児・保護者 受け入れガイドブック - 外国人住民のための子育て支援サイト](#)

坪井牧子(大垣市プレスクール「きらきら教室」とは？ー「つながる」学習と支援をめざしてー)東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット 令和5年度 外国人児童生徒等教育研修 オンライン第3回資料
[プレススクール実施マニュアルの作成・普及 - 愛知県](#)

とよなか国際交流協会HP「外国人保護者のための入学準備説明会」

会見・報道・お知らせ

政策・審議会

白書・統計・出版物

申請・手続き

文部科学省の紹介

トップ > 教育 > 国際教育 > CLARINETへようこそ

CLARINETへようこそ

在外教育、帰国・外国人児童生徒教育等に関するホームページ

CLARINETへようこそ



サイトトップ このサイトについて 利用規約



「かすたねっと」は外国につながるのある
児童・生徒の学習を支援する情報検索サイトです



外国人児童生徒 受入れの手引

改訂版



2019年3月

文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課

